Beacon Users' Group NEWS

# Beacon ユーザ会ニュース

2011.7.31
No.40

CONTENTS

□ 第28回Beaconユーザシンポジウムご報告 …… 2
□ Close Up! シンポジウム優秀事例発表賞インタビュー… 5
□ 平成23年度各地区研究会会長・代表ご挨拶 …… 6
□ Beaconユーザ会の組織と活動について …… 8
□ 平成23年度研究グループKickoff …… 9
□ Special Essay …… 11
□ 役員の紹介/年間スケジュール …… 12

Beaconユーザ会ホームページ
http://www.beaconuser.jp

この度の東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

# 第28回 Beaconユーザシンポジウムご報告

平成23年3月3日～5日
於大津プリンスホテル　コンベンションホール「淡海」

第28回Beaconユーザシンポジウムは、今年も滋賀県大津市で開催されました。今回も全国から199社647名と多くのご参加をいただき、活気の溢れる3日間となりました。

Beaconユーザ会定時総会はあらかじめWeb総会として、登録代表者の皆様にご投票をお願いしました。皆様のご協力のお陰で無事議案のご承認となりましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

1日目の全体会では、白石幹事より開会式およびWeb総会の結果報告に引き続き、(株)ビーコンIT代表取締役社長　坂本 桂一氏による「プラグインで始めるクラウド活用」と、(株)ビーエスピー代表取締役社長　竹藤浩樹氏による「クラウド時代に求められるシステム運用のあるべき姿」の2つのプレゼンテーションが行われました。

白石幹事による総会報告の様子

休憩の後は、5会場で事例発表10セッションとBeaconIT&BSPプレゼンテーション2セッション、パートナープレゼンテーション3セッションが行われました。オープンスペースに設置されたパートナーズゾーンには出展各社による展示ブースが並び、新しいソリューションや新製品の説明・デモンストレーションが行なわれました。

研究発表

夕食および情報交換会では、事例講演者の方々のインタビューがあり、ミールスポンサーによる屋台が立ち並び、華やかな雰囲気の中、皆さん食事と会話を楽しんでおられました。

2日目は6会場で研究発表および、マネジメントセッション・海外IT動向セッション・パネルディスカッションなどが行われました。研究発表では、過去最大の36のグループが、1年間の研究活動の集大成を発表しました。昼食後には、三屋裕子氏による講演が行われました。

マネージャーの方々向けのプログラムも充実した内容となりました。海外IT動向セッションでは、野口芳延氏による「2011年、日本企業が注目すべき米国ITトレンドTOP5」、葛西清氏からは「マネージャーであるあなた自身の危機脱出法と技術」と題したセッションが行われました。また業務変革とIT活用研究グループ主催のパネルディスカッション「IT部門の終焉～あなたの仕事に明日はありますか?～」では、参加者も含めた活発な討議が行われました。

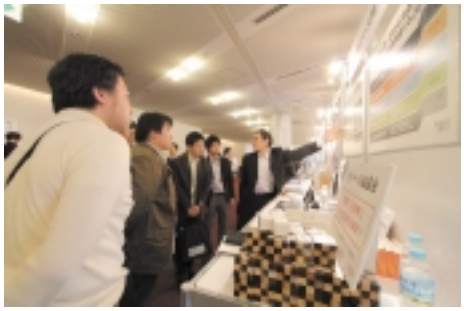
2日目夜のパーティーでは、優秀な評価を得た事例発表/研究発表の表彰式が華々しく行われました。優秀事例発表賞は、株式会社日立ビルシステム　関谷真琴氏による「infoScoopによる営業ポータルサイトの構築　～必要な情報に素早く辿り着くホームページへ向けて～」が受賞されました。営業部門に密着した事例はとても参考になりました。

また、中村あゆみさんによるコンサートでは全員総立ちで盛り上がりました。

パネルディスカッションの様子

三屋裕子氏による講演

今年度活動の集大成として研究グループの表彰式は、各グループの代表者がステージに上がり、期待と不安の入り混じった中での発表です。一年間メンバと共に苦労をし、努力を重ねた研究成果を出し切り、


パートナーズゾーン

立食情報交換会

全体会

メンバの代表として発表の瞬間を待ちます。

　栄えある最優秀活動賞には、中部情報活用研究会　企業内情報活用研究グループ『WANTED!会社の知識人～埋もれていませんか?　大切なノウハウが・・・～』が輝きました。業務時間との調整をつけながら、諦めずに取組んできた結果が大きな実を結んだとのことで、メンバ全員の結束力が強くとてもわかり易い発表でした。

**第29回Beaconユーザシンポジウムは平成24年3月8日（木）～10日（土）開催予定です。プログラム等の詳細は12月頃に皆様のお手元にお届けいたします。次回も多くの皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。**

研究発表

表彰式の様子

小岩井乳業からの差入れ

## 第28回 Beaconユーザシンポジウム参加企業一覧

あ （株）アークシステム/（株）アーク情報システム/アース製薬（株）/（株）アイ・アイ・エム/（株）あいおい保険システムズ/アイクラフト（株）/（株）アクティオ/（株）アコーディアゴルフ/（株）アズテックシステム/（株）アスペックス/アフラック収納サービス（株）/アメリカンホーム保険会社/安藤建設（株）/いすゞシステムサービス（株）/出光興産（株）/伊藤忠テクノソリューションズ（株）/（株）INAX/（株）インターコム/インフォテリア（株）/ウイングアーク テクノロジーズ（株）/ウルシステムズ（株）/（株）エー・エス・エー/エーエム戦略経営研究所/AGS（株）/エース（株）/エス・アイ・エス（株）/（株）エスワイシステム/NECフィールディング（株）/（株）NHKメディアテクノロジー/（株）エヌ・エス・エム/（株）NSP/（株）NTTデータ/（株）エヌ・ティ・ティ・データCCS/NTTデータフォース（株）/（株）エムアンドシーシステム/エムエルアイ・システムズ（株）/MUS情報システム（株）/（株）オージス総研/（株）オカモトヤ/岡谷鋼機（株）/（株）OKIソフトウェア/

か カシオ計算機（株）/カシオ情報サービス（株）/（株）カネカ/関電システムソリューションズ（株）/菊水化学工業（株）/（株）紀伊國屋書店/九電ビジネスソリューションズ（株）/共栄エンジニアリング（株）/京セラ（株）/京セラコミュニケーションシステム（株）/近鉄情報システム（株）/有限会社グリーンフラグ/グローブライド（株）/（株）ケイ・オプティコム/KDDI（株）/（株）ケイテック/京葉ガス（株）/ケージー情報システム（株）/小岩井乳業（株）/（株）合人社計画所/コニカミノルタビジネスソリューションズ（株）/コムテック（株）/

さ サークル（株）/西部ガス情報システム（株）/サイベース（株）/さくら情報システム（株）/サッポロビール（株）/三愛石油（株）/（株）SANKYO/サントリービジネスエキスパート（株）/（株）サンモアテック/（株）CRCシステムズ/（株）シーイーシー/（株）CACオルビス/（株）Cスタジオ/JX日鉱日石インフォテクノ（株）/JX日鉱日石金属（株）/JFEシステムズ（株）/塩野義製薬（株）/（株）滋賀県農協電算センター/シス・コンピューティング（株）/（株）システムエグゼ/（株）システムオリコ/システムクリエイト（株）/（株）システムズ/システム・ソリューション・エンジニアリング（株）/（株）システムフロンティア/（株）シティアスコム/上新電機（株）/昭和シェルビジネス&ITソリューションズ（株）/昭和情報機器（株）/生活協同組合連合会コープネット事業連合/（株）セキスイビジネスアソシエイツ/ゼリア新薬工業（株）/全日空システム企画（株）/（株）全農ビジネスサポート/ソニー生命保険（株）/（株）ソフトウェア・パートナー/ソラン（株）/損害保険料率算出機構/

た 第一工業製薬（株）/（株）第一コンピュータリソース/第一生命情報システム（株）/ダイトエレクトロン（株）/ダイハツ工業（株）/（株）ダイフク/大鵬薬品工業（株）/（株）大和ソフトウェアリサーチ/大和リース（株）/（株）タカインフォテクノ/（株）中電シーティーアイ/TIS（株）/TISシステムサービス（株）/T&D情報システム（株）/データ・マネージメント（株）/（株）データ総研/（株）電通国際情報サービス/（株）電波新聞社/東亜建設工業（株）/東海EC（株）/生活協同組合連合会東海コープ事業連合/東海プラントエンジニアリング（株）/東京システムハウス（株）/東芝住電医療情報システム（株）/東芝情報システムテクノロジー（株）/東北インフォメーション・システムズ（株）/東洋アルミニウム（株）/（株）東洋経済新報社/（株）東洋紡システムクリエート/（株）東レシステムセンター/（株）トーハン・コンピュータ・サービス/凸版印刷（株）/（株）トッパンシステムソリューションズ/（株）トヨタコミュニケーションシステム/トヨタ情報システム愛知（株）/（株）豊通シスコム/ナカバヤシ（株）/

な （株）ナレッジソフトウェア/南海マネジメントサービス（株）/（株）西出自動車工作所/西鉄情報システム（株）/西日本旅客鉄道（株）/日軽情報システム（株）/（株）日経統合システム/日研システム（株）/日清オイリオグループ（株）/日東電工（株）/日本情報産業（株）/日本精線（株）/日本特殊陶業（株）/ニフティ（株）/日本エムツーソフト（株）/（株）日本公文教育研究会/日本情報産業（株）/日本ヒューレット・パッカード（株）/（株）ニューシステムテクノロジー/ネットワンシステムズ（株）/（株）ノエビア/（株）野村総合研究所/

は （株）ハイ・アベイラビリティ・システムズ/パナソニック ソリューションテクノロジー（株）/BI-Style（株）/（株）ビーエスピー/（株）ビーエスピーソリューションズ/（株）BOS/（株）ビーコンIT/（株）ビーティス/（株）日立ソリューションズ/日立電子サービス（株）/（株）日立ビルシステム/福田金属箔粉工業（株）/（株）フジシステムズ/（株）フジテレビジョン/（株）フジミック/（株）プラネット/ブレインセラーズ・ドットコム（株）/（株）プレナス/（株）ブロード/

ま ミズノ（株）/三菱UFJインフォメーションテクノロジー（株）/（株）無限/（株）メイテツコム/森下ソフトプロデュース/

や 山崎製パン（株）/UDトラックス（株）/（株）ユーフィット/ユニチカ（株）/ユニチカ情報システム（株）/

ら （株）ラス・インターナショナル/（株）リコー/リコージャパン（株）/（株）菱友システムズ/（株）リンクレア/労働金庫連合会/ロンググロウ（株）/

わ （株）湾岸システム/

# 第28回Beaconユーザシンポジウム受賞報告

## 研究グループ活動賞

【2011.3.4表彰】

### 最優秀活動賞

**中部情報活用研究会**
**企業内情報活用研究グループ**

（株）INAX　沼田　真弓
岡谷鋼機（株）　宮本　碧海
生活協同組合連合会東海コープ事業連合　井上　唯義
トヨタ情報システム愛知（株）　神野　嘉高

**『WANTED!会社の知識人』**
**～埋もれていませんか？　大切なノウハウが・・・～**

日本特殊陶業（株）　岡本　裕介
BeaconIT　阿部　正俊
BeaconIT　清水　直樹

### 優秀活動賞

**東日本システム運用研究会**
**システム運用における最新技術動向研究グループ**

（株）NTTデータCCS　城戸　正亭
カシオ情報サービス（株）　山屋　光一郎
さくら情報システム（株）　伊藤　雅史
（株）CRCシステムズ　廣田　真也
TIS（株）　高木　真一
T&D情報システム（株）　堀内　智洋

**『今日からできるクラウド改革』**
**～クラウドの先は青い空と白い雲の世界～**

データ・マネージメント（株）　粟野　祐介
（株）フジシステムズ　東　和宏
（株）無限　坂本　悠生
BSPSOL　佐藤　陽一
BSP　宮本　崇

### 優秀活動賞

**東日本情報活用研究会**
**初めてのリッチユーザインターフェース研究グループ**

（株）紀伊國屋書店　亀岡　祥子
（株）システムフロンティア　小島　康稔
（株）システムフロンティア　古川　恭子
（株）ソフトウェア・パートナー　松崎　岳人

**『RIA取扱説明書』**
**～これであなたもRIA充になれる！～**

日軽情報システム（株）　SAY　LEANG
（株）無限　有光　貴彦
BeaconIT　鎌田　周次
BeaconIT　渡邉　剛

### 優秀活動賞

**西日本情報活用研究会**
**クラウドコンピューティングの価値研究グループ**

エース（株）　石川　妙
京セラ（株）　橋川　昌和
近鉄情報システム（株）　森村　英輝
（株）CACオルビス　身野　忠明
（株）西出自動車工作所　木村　佳世

**『クラウドの利用価値とその将来性』**
**～もし情シスのマネージャがまるごとクラウドを始めたら～**

日本精線（株）　平岡　剛
（株）リンクレア　安田　雄一
BeaconIT　黒田　浩子
BeaconIT　上本　直人

### 審査員特別賞

**東日本システム運用研究会**
**システム運用におけるクラウドサービス研究グループ**

出光興産（株）　渡邉　幸太郎
JX日鉱日石インフォテクノ（株）　小澤　和彦
ソラン（株）　久保田　光洋
TIS（株）　金田　奈緒子
TIS（株）　松井　敬

**『ととのいました!!　クラウドへの道』**
**～基幹システムも雲に乗れる？～**

（株）日経統合システム　加藤　一正
ネットワンシステムズ（株）　久田　章太
BSP　長岸　厚司
BSP　阿久　津聡

## 優秀事例発表賞

**株式会社日立ビルシステム**

**「infoScoopによる営業ポータルサイトの構築」**
**～必要な情報に素早く辿り着くホームページへ向けて～**

## 参加者の声
（シンポジウムアンケートより）

### シンポジウム全体

○イベント期間中、時間が短く感じられるほど充実していた。
○日ごろの業務遂行により狭くなりがちな視野を広め、業界の情勢、動向などを肌で感じることにより、固くなった頭を柔らかくし、発想、判断力を高めることができたと思う。
○想像以上に盛大なシンポジウムでとても参考になった。異業種・他業種交流の場として、今後も活用していきたい。

### 研究発表

○ユーザー会の参加は直接的に売り上げに寄与することは少ないが、社員の底力を上げる、人生経験を豊かにするという視点では非常によい環境だと思う。チームの同僚、後輩に参加を勧めたい。
○研究テーマやプレゼン方法などそれぞれのグループで個性が出ていて非常に興味深かった。
○他の企業の人たちと作業を進めていく事で、自社内とは違うものが見えた。結果、危機感を覚え自分の行動を変えることができた。
○実務に活かせる発表もあり、ヒントもあり、管理者の頭でっかちな研究でなく現場の担当者の意見が反映された発表が多かったので実感があり実践で使えるように感じる。
○研究内容より人とのコミュニケーションに対する教育を期待して参加させましたが、かなりのレベルアップになっていると感じています。

### 事例発表

○他社の事例は自社の改善にも繋がるのでもっと枠を増やして欲しい。
○業務に直結する発表があり、とても有益でした。

### その他

**（海外IT動向セッション、マネジメントセッション、パネルディスカッションより）**
○毎回新たな発見をさせていただいています。今回も現在の業務の次の一手のヒントになりました。
○リスクマネージメントの大切さが改めて認識できた。大変参考になった。
○他社での中堅層とマネジメント層の考え方などが知れて参考になった。

アンケートへのご協力ありがとうございました。
今後も皆様にとって有意義なシンポジウムとなりますよう、一層努力してまいります。

# Close Up!
# シンポジウム優秀事例発表賞インタビュー

**第28回Beaconユーザシンポジウムで優秀事例発表賞を受賞されました、株式会社日立ビルシステム　関谷　真琴氏にお話をうかがいました。シンポジウムの感想やお仕事のこと、また、ユーザ会へのご意見などお聞きしました。**

**発表タイトル**

『infoScoopによる営業ポータルサイトの構築』
～必要な情報に素早く辿り着くホームページへ向けて～
第28回Beaconユーザシンポジウム優秀事例発表賞受賞

**関谷　真琴 氏**
**株式会社日立ビルシステム**
**営業統括本部 営業企画本部**
**企画部 営業教育グループ**

**事務局:ユーザシンポジウムでの事例発表ありがとうございました。また、優秀事例発表賞の受賞おめでございます。**

**関谷氏:**ありがとうございます。

**事務局:受賞の感想をお聞かせください。**

**関谷氏:**まさか賞を頂けるとは思っていなかったので、ビックリしました。2年前に研究グループの一員として発表したのですが、その時には2年後にこんなことになるとは思いもしませんでした。準備段階からご協力頂いた皆様のおかげです。

**事務局:受賞した後の社内での反応は?**

**関谷氏:**受賞報告が社内報に掲載された後、様々な方からお祝いの言葉や電話を頂きました。

**事務局:研究グループメンバとしてシンポジウムに参加された時とどんな違いがありましたか。**

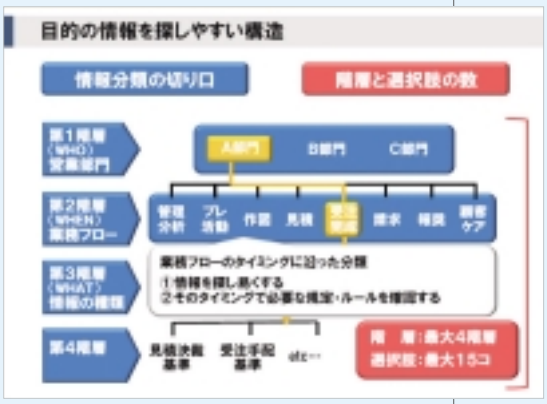
**関谷氏:**研究グループに参加していた時は他のメンバーに引っ張って頂き、何とか大津の発表にこぎ着けましたが、今回は社内の発表会という事前の検証の場を踏まえての発表ということでかなりブラッシュアップして発表できました。2年前の研究発表はとても緊張しましたが、今回は落ち着いて発表できました。

**事務局:infoScoopを導入されるきっかけになったのはいつ頃ですか?**

**関谷氏:** 2007年末に営業向けのポータルサイトのリニューアル案が検討され、2008年の春にinfoScoopを導入する話が挙がり、SFAの切換えと共にリリースが決まりました。

**事務局:画面設計をする前の「情報の分類」は何が一番大変でしたか。**

**関谷氏:**営業員が利用する情報を社内イントラネットの中から一つ一つ洗出し、洗い出した300を超える数の情報をどのような切り口で分類するかを決めていく工程が一番大変でした。



**事務局:今後の取組みについて教えていただけますか。**

**関谷氏:**今後の方針としては、まず、導入してからそのままのバージョンをアップさせて今の時代についていくことから図ろうと考えています。また、個人的に、この春に担当業務が替わり、infoScoopも後任者に引き継いだのですが、自分自身、いち利用者として利用者目線の使い易さ向上に貢献していきます。

**事務局:ありがとうございました。**

# 平成23年度　各地区研究会会長・代表ご挨拶

今年度も新たに情報活用研究会とシステム運用研究会の2研究会での研究会活動が始まりました。全国で277名の方が参加され、37研究グループが立ち上がりました。また、各地区のITフォーラムやマネジメント研究会も活発に活動が始まっています。
各地区の研究会会長・代表の方々より、活動方針と抱負をお願いいたします。

## 東日本地区

東日本情報活用研究会会長　**熊野 憲辰**　ゼリア新薬工業（株）

**東日本情報活用研究会では、今年度全12グループで研究活動を行います。巨大地震、電力不足など環境が激変している中、メンバ数は昨年よりも10名以上増え、100名近くになりました。これは、このユーザ会・会員企業の皆様の強い力、強い期待であると思います。それに負けないよう、全ての研究グループで、ユーザ会らしい現場に根ざした、力強い研究をしていきたいと思います。研究グループに参加された皆様、スタートダッシュが重要です。強い目的意識を持ってゴールを目指してください。我々も精一杯サポートさせていただきます。共に頑張っていきましょう!**

東日本システム運用研究会会長　**中俣 幸二**　（株）リコー

**今年度より東日本システム運用研究会会長を仰せ付かりました中俣です。顧客満足度向上やインシデント管理の効率化など運用部門では切ってもきれない内容から、最新テクノロジー研究と多種多様な12グループでの活動となります。活動では各社の事例をはじめ、いろいろなことを勉強し活発な意見交換を行い、最後には自社や他の会社の方にも活用していただける研究成果を残していただきたいと思います。どうか実りある活動にするために、協力し合って一年間頑張りましょう。**

東日本ITフォーラム代表　**米林 喜一郎**　アフラック収納サービス（株）

**東日本ITフォーラムでは、臨機応変に、その時々の旬なIT関連のテーマを選ぶように、心がけています。今年度は第1回と2回を開催し、1回目は、「サントリーグループの物流システム紹介」というテーマで、先進ユーザ事例講演を聞き、その後参加者全員で各社の実情に照らし合わせて、課題などの意見交換しました。第2回は、シンポジウムのユーザ事例発表の中でも、評価の高かった会社の講演を聞くことができました。今年も、旬のテーマを選び、その分野の第一人者をスピーカーにお迎えして、　講演後、参加者全員で議論を深めます。そして、その後の懇親会で本音に迫るスタイルを継続したいと思います。興味あるテーマの推薦も含めて、皆様の参加をお待ちしています。**

## 中部地区

中部情報活用研究会会長　**小林 潤一**　（株）LIXIL

**今年度の中部情報活用研究会は「グローバルシステム研究」と「企業でのクラウド活用研究」といった、各企業において現実の課題となっている2テーマで活動を行っていきます。国内中心・オンプレミスといった従来の枠を抜け出して今後の企業ITのスタンダード?にしていく為に、今何ができるか、何が必要か、といった検討・方向付けができればと考えています。メンバーで一丸となって、ONでは議論を深めOFFでは和気藹々と、限られた時間を使って、がんばっていきましょう。**

中部システム運用研究会会長　**杉山 光**　生活協同組合連合会東海コープ事業連合

**この度の東日本大震災におかれまして、被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。今年度は、震災の関係もあり、各企業におかれましてはシステムのバックアップやBCPの見直しに尽力を上げておられるかと思います。そんなテーマの研究グループを設けられると良かったのですが、2011年度は、「システム改善のための共通インフラ構築」、「クラウド時代の運用管理」の2つの研究グループで活動をスタートしました。本来業務を執行しながらの研究活動ですので、本当に大変だと思いますが、何かの縁で一緒の時間を共有する事になったわけですから、この時間を大切にし、シンポジウムは笑顔で終われる様、共に頑張りましょう。**

中部ITフォーラム代表　**戸松 雅彦**　（株）中電シーティーアイ

**中部ITフォーラムでは、今後、災害などにおける情報部門の役割の見直しが急務かと思います。対応においても、今まで延長線上での対応ではなく、体験に基づく事例などの収集に努め、各社に緊急のテーマに積極的に取組んで一緒に考えて行きたいと思います。テーマの選考においては、会員各社のマネージャーの方や、他社との意見交換が目的など様々な希望を取り入れ、地元に密着する身近な話題提供ができればと考えています。また参加された方々が、活発な意見交換ができる雰囲気や進行を心がけて進めて行きますので積極的な参加をよろしくお願いいたします。**

## 西日本地区

西日本情報活用研究会会長　**永田 俊哉**　東洋アルミニウム（株）

**社会インフラとしてITの重要性が増す中、日々の仕事からちょっと離れて異業種の仲間と議論を重ねる。今年度の西日本情報活用研究会は、そんな熱い議論の中から『前例にとらわれない独自の智恵を集めた成果』が生み出されるように取組み、西日本から元気を発信いたします。**

西日本システム運用研究会会長　**東野 彰**　（株）オージス総研

5月に春の全体会が行われ、西日本システム運用研究会は今年度も3つの研究グループでスタートしました。今年は研究グループの皆さんに3つのことをお願いしています。①早い時期によく議論して研究の方向性を決める、②研究の成果を実際の業務に活かす、③いろいろ話せる仲間を作るとともに、研究会活動を楽しむことの3点です。みんなで一緒に研究会活動を楽しみましょう。

西日本ITフォーラム代表　**奥野 雅章**　（株）東洋紡システムクリエート

**西日本地区幹事も2年目となり、広く色々な業種の会員の方との意見交換が増え有意義な体験をしております。西日本ITフォーラムは、情報技術を中心とした話題で情報交換を重視して開催しております。皆様の積極的なご参加により、現場から経営レベルまで、　ICに携わる会員にとって有効なヒントや情報が得られるそんな場となりますことを願っております。**

## 九州地区

九州情報活用研究会会長　兼システム運用研究会会長　**石橋 研二**　西部ガス情報システム（株）

**今年度より九州地区のユーザ会役員を担当することになりました。よろしくお願いします。 5月にユーザ会メンバーも決定し、来年3月のシンポジウム上位入賞を目指して活動して参ります。九州地区は、毎年チャレンジャーの気持で臨んでおりますが、結果だけでなく、ユーザー会活動を通じて、自ら能動的に、時間をかけて取り組み、また、人とのつながりを大切にすることで、今まで気付かなかった自分を発見してほしいと思っています。この場が参加メンバーの貴重な経験となるよう、一緒に頑張っていきましょう。みなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。**

九州ITフォーラム代表　**栗田 政倫**　九電ビジネスソリューションズ（株）

**九州ITフォーラムでは、ITを取り巻く環境が大きく変化しているこの時代において、会員皆様の日常業務の中で抱えている様々な課題やこれからの新しい情報技術、業界動向、先進事例など旬な話題をテーマに開催しております。今年はより一層広い分野の情報交流や意見交換を目指し、九州地区の異業種・異世代の会員の方々が自由に情報交流や意見交換ができるよう運営していきたいと考えております。是非積極的にご参加頂けますよう宜しくお願い致します。**

## マネジメント研究会

マネジメント研究会会長　**白石 兼康**　（株）日立ビルシステム

**ユーザ会の皆様、こんにちは!マネジメント研究会は、多くのユーザ会参加企業の皆様のご好意により様々な施設の見学、あるいは講演などを通して異業種の業態、文化をはじめとして日ごろ知ることのできない貴重な体験をして頂き、経営幹部の皆様の見識を広めて頂くことをモットーに活動しております。また、共通の悩みを時にはお酒を傾けながら語り合い、人脈を広げて頂ける場としてこれからも精力的に活動して参ります。今年度も6月東日本・7月九州・9月西日本・11月中部と積極的なご参加をお待ちしております。**

## 上海ＩＴフォーラム

上海ITフォーラム代表　**佐藤 禎之**　カシオ計算機（株）

**ユーザ会の皆さま、こんにちは。カシオ(上海）の佐藤です。皆さまのご協力のおかげで「上海ITフォーラム」も3年目を迎えました。「上海ITフォーラム」は中国進出企業で働く方々の情報交換の場を提供することを中心に活動しています。ITにまつわる様々な環境の違い、更にはビジネス環境の違いなど、中国ならではの様々な情報提供の場にしたいと考えています。ITという職種にとらわれない敷居の低い会にしたいと思いますので皆様是非ご参加ください。**

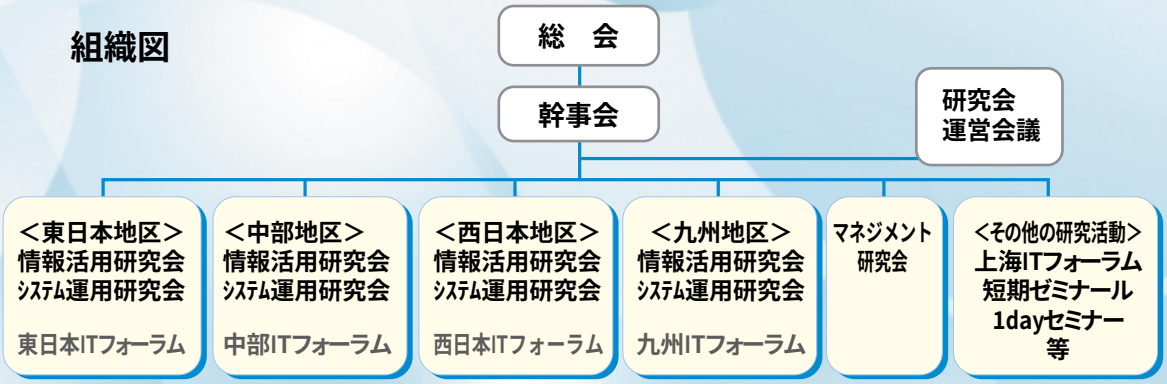
（敬称略）

Beacon users' group

# Beaconユーザ会の組織と活動について

今年も、当ユーザ会の活動の柱である研究会活動の内容・レベルの向上、および研究会活動に参加される方のスキルアップ、情報交換を目的に、様々な取り組みを行なってまいります。
上海の組織は海外にビジネス展開されている会員各社のための新たな活動を計画中です。

## 組織図




## 研究会活動

### 1 地区一覧

| 地区名 | 対象 |
|---|---|
| 東日本地区 | 北海道・東北・関東・甲信越地方 |
| 中部地区 | 東海・北陸地方 |
| 西日本地区 | 近畿・中国・四国地方 |
| 九州地区 | 九州・沖縄地方 |

### 2 研究会活動内容

各研究会では、1年間を通じてテーマごとに研究グループ活動を行い、3月のユーザシンポジウムで研究成果を発表します。また、ユーザ相互の情報交換・技術交換を目的とした全体会を各地区毎に実施し、親睦を深めるための懇親会を適宜行います。

| 研究会名 | 内容 |
|---|---|
| 情報活用研究会 | あらゆる情報をビジネスの中に効果的に活用する方法や技術・事例をテーマにした研究グループ活動。 |
| システム運用研究会 | システムの運用・管理に関連する技術・事例をテーマにした研究グループ活動。 |

### 3 情報交換のための研究活動

| 名称 | 内容 |
|---|---|
| 東日本ITフォーラム | 東日本地区の方々を中心に、会員企業の各階層ごとに最新技術情報のテーマを設定し、各研究会のカテゴリーを超えた幅広い分野での意見交換・討議の場として年3回程度開催。 |
| 中部ITフォーラム | 中部地区の方々を中心に、開催時期ごとの旬な話題をテーマに講義およびテーマに関する討議を行い、ユーザ相互の親密な意見交換を行う。年3回程度開催。 |
| 西日本ITフォーラム | 西日本地区の方々を中心に、話題となっている最新の情報技術を中心にした会合を討議形式で年3回程度開催。 |
| 九州ITフォーラム | 九州地区の方々の技術情報に関する意見交換の場として、年3回程度開催。 |
| マネジメント研究会 | 全国の部門長クラスの方々を対象に、マネジメントの立場から見た情報システムにまつわる最新の話題を幅広く取り上げ、情報交換を行う。年4回開催。 |

### 4 その他の研究活動

| 名称 | 内容 |
|---|---|
| 上海ITフォーラム | 会員企業の中国担当者を対象に情報交換を行う。年1～2回開催。 |
| 短期ゼミナール | 1つのテーマを小人数・同一メンバで3～5回に渡って討議・情報交換するゼミナールを各地にて年数回開催。 |
| 1dayセミナー | 事例・新技術発表会・新バージョン説明会等の1日のセミナーを年数回開催。 |

※7月～11月に随時開催の予定。

上記のほか、会員に有益と思われる企画を随時開催する予定です。

平成23年度

# 研究グループKick off

5/20の九州地区をスタートとして、研究グループKickoffとなる「春の全体会」が各地区で開催され、各地区の研究会長・副会長の支援のもと、情報活用研究会とシステム運用研究会の2研究会での研究会活動がスタートしました。
第28回ユーザシンポジウムで受賞されたグループからの発表もあり、具体的なゴールを描いて、初回から積極的に討議に入るグループもありました。

## 東日本地区

5月26日（木）コートヤードマリオット 銀座東武ホテルにて開催。　70社235名参加。

● 第28回シンポジウム優秀活動賞受賞　発表
東日本システム運用研究会
システム運用における最新技術動向研究グループ
『今日からできるクラウド改革』
～クラウドの先は青い空と白い雲の世界～

● 平成22年度活動報告、平成23年度活動計画について

● 研究グループ討議、活動計画発表

●東日本情報活用研究会　12グループ

IT部門の10年後のあるべき姿、データベース基礎、マッシュアップ基礎、HTML5の可能性

失敗しないアジャイル開発、ソーシャルメディアマーケティング、クラウド型のオープンソース

クラウドの光と影、情報端末主導のシステム革新、BABOKによるプロジェクト管理

IT部門のIFRS対応、グローバルなシステムを作成するための知識

●東日本システム運用研究会　12グループ

運用管理事例、運用の要件定義、ITサービスマネジメントにおけるPMO

運用業務のOJT・引継ぎ方法論、ITILV3活用研究、インシデント管理の効率化・再考

SLAを考える、開発と運用の関係強化研究、システム運用における顧客満足度向上への取り組み

システム運用におけるクラウド活用研究、システム運用における最新テクノロジー研究

インシデント管理の活用研究

## 中部地区

5月31日（火）　名鉄グランドホテルにて開催。20社43名参加。

● 第28回シンポジウム最優秀活動賞受賞　発表
中部情報活用研究会　企業内情報活用研究グループ
『WANTED!会社の知識人』
～埋もれていませんか？　大切なノウハウが・・・～』

● 平成22年度活動報告、平成23年度活動計画について

● 研究グループ討議、活動計画発表

●中部情報活用研究会　2グループ
グローバルシステム研究、企業でのクラウド活用研究

●中部システム運用研究会　2グループ
システム改善のための共通インフラ構築、クラウド時代の運用管理

# 研究グループ Kick off

平成23年度

## 西日本地区　5月30日（月）　ホテル大阪ベイタワーにて開催。30社68名参加

● 第28回シンポジウム優秀活動賞受賞　発表
西日本情報活用研究会
クラウドコンピューティングの価値研究グループ
『クラウドの利用価値とその将来性
～もし情シスのマネージャがまるごとクラウドを始めたら～』

● 平成22年度活動報告、平成23年度活動計画について

● 研究グループ討議、活動計画発表

●西日本情報活用研究会　4グループ
クラウド時代に求められるシステム統合手法、ソーシャルメディアのビジネス活用術、成功に導くプロジェクト管理手法、業務変革とIT活用

●西日本システム運用研究会　3グループ
IT運用管理におけるコストの可視化、システムライフサイクルの考え方、IT運用におけるヒューマンエラー防止技術の研究

## 九州地区　5月20日（金）　ハイアット・リージェンシー福岡にて開催。17社44名参加　※第30回九州ITフォーラムと合同開催

● 第28回シンポジウム発表　事例講演
『インシデント管理システム構築による運用品質向上と
コスト削減の取り組み』
九電ビジネスソリューションズ株式会社　井澤　尚子　氏

『infoScoopによる営業ポータルサイトの構築
～必要な情報に素早く辿り着くホームページへ向けて～』
株式会社日立ビルシステム　関谷　真琴　氏

● 平成22年度活動報告、平成23年度活動計画について

● 研究グループ討議、活動計画発表

●九州情報活用研究会1グループ
ビジネスに活用できる情報技術

●九州システム運用研究会 1グループ
システム運用部門における業務改善

## ユーザ会ポータルサイトの開設について

Beaconユーザ会では、研究会活動の活性化および利便性の向上を目的に、ポータルサイトを開設いたしました。研究会活動の支援ツールとしてご活用ください。

Beaconユーザ会 ポータルサイト（研究グループメンバ専用）
URL:http://beaconuser.beacon-it.co.jp/users-inicio/

※ポータルサイトの立ち上げには、株式会社ビーコンITより『Xuras inicio』（XMLナレッジコラボレーション）をご提供いただいております。
http://www.beacon-it.co.jp/products/pro_serv/e-business/xurasin/index.shtml

# ＡＤＡＢＡＳ黎明期から最盛期まで付き合って

昭和50年代の始め、関西電力株式会社ではデータベースの調査をすることになり、代表的なDBMSであるIMS-DL1、DB2、TOTAL、S/2000等々の調査を開始しました。調査方法は、各々のDBMSを試使用し、当社のモデル業務に適用した場合の計算機資源への影響、レスポンス等を測定し評価することにしましたが、同時にメーカー／ベンダー様のサポート力をしっかり確認することにも力を注ぎました。この時点では、各DBMSの特徴は理解できたものの本格導入に至ったものはありませんでした。順当な流れとして、IMS-DL1を導入し、何年後かにCPU能力を上げてDB2導入かと個人的には思っていました。

ＤＢＭＳの評価報告をまとめたもののDBMSの導入に至らず、物足りなさを感じていた時に、部内幹部の方がヨーロッパ外遊から帰国されドイツではＡＤＡＢＡＳが結構使われて評判も良かったという話をされ、早速調査することにしました。ADABASは当時、日本ではビジネスコンサルタント社の1部門が扱っているとのことでしたが、どこへ声をかければよいのかもわかりませんでした。

ADABASを試使用に漕ぎつけた段階では、ソフトウエアAGオブファーイースト（SAG社）という社名でＡＤＡＢＡＳを専門に扱う会社が発足していました。最初の契約時には、藤本、宮台、石井、脇田各氏にご足労頂きました。

日本では、当時ADABASのユーザ数も少なく試使用とはいえ関西地域第1号ユーザとして十分に評価すべきとのことで試使用期間も昭和55年から1年半程度かけ、SAG社のサポートを頼りにモデルプログラムを作成し、計算機負荷、レスポンス等々について評価を実施しました。結果を受けて本格導入することとなりましたが、試用期間中に関西地区でのファーストユーザが決まったことを聞かされ、当社は2番目ユーザになりました。

暫くしてから、関西でユーザ会を発足させるというお話をSAG社からいただき、某薬品メーカー2社の方と相談し、とりあえず私が代表で関西ユーザ会をスタートすることにしました。

狙いは

1. 他社事例の照会を通じてADABASの使い方を勉強する（自社の技術員の教育）
2. SAG社様にユーザの声を聴いていただく場（SAG社の叱咤激励）
3. ユーザ間コミュニケーションの活性化（お助けマン）

等をテーマとすることにしました。活動期間は2年程度であったと思いますが、全国ユーザ会が発足するということになり関西ユーザ会も発展的解散することになりました。

このころから、ADABASユーザも飛躍的に増加し、先駆ユーザとして良いものを導入することができたことを実感することができました。

昭和50年代後半に、IBM社コッド博士がDB構築には、この12のルールを満足しなければならないという論文を発表され、ADABASがどのように対応できるのかという説明を社内で求められ、SAG社石井社長から知恵を授けられ遵守できることを確認し、安堵したこともありました。

次に大きな波が来たのは、昭和60年代始めごろから全社データベースを構築することになり、全社データベース設計の方法を確立することになりました。所謂DOA設計ですが全社レベルでのデータの共用という観点で設計をするということで、我々としてもスケール面で未経験の規模のシステムにチャレンジすることになりました。

全社レベルのデータベース構築方法ということで、SAG社に意見を求めたところデータ総研社がそのような技術をお持ちであるとのお話をいただき調査することになりました。当社の代表的な業務を例にとり設計方法の勉強をすることにしましたが、データ項目を定義するところで、データの意味がいかに曖昧なものかを思い知らされました。当時、東京ではDOAについてアフター5の勉強会が開催されており、これにも毎週1回参加しました。

当社ではDOAを論理設計と呼び、これを受けてADABASに実装するところを物理設計と呼び各々の設計を別々に行うこととしました。論理設計で正規化したファイルは表形式であり、ADABASとの相性も良く設計も容易であるという感があったのですが、パフォーマンス面で問題が発生し、正規化を崩すことになり、物理設計の重要さを痛感したこともありました。理想と現実のギャップは時代とともに縮小されていくことを願わずにはいられませんでした。

情報システム技術といえども新しいものが出現しては消えていく栄枯盛衰を感じていましたが、その中で、30有余年の間第一線で稼働してきたADABASは改めてすごいソフトウエアであったと思う。ADABASの名前の一部にもあるようにadaptabilityに優れ、ビーコンIT社の技術力と相俟って多くのユーザの信頼を勝ち取ってきた類い稀な製品であったと思う。このような製品と出会えたのも我が人生の中でラッキーなことであったと感謝しております。

関西ＡＳＳＩＧＮ会初代会長および幹事
（昭和５６年～５８年）
元　関西電力株式会社
木村　昌保　氏

# 役員の紹介

●平成23年度のBeaconユーザ会役員の方々をご紹介します。

会　長
**坪井　祐司**
(株) LIXIL

平素はユーザ会活動にご協力いただき、誠に有り難うございます。
当ユーザ会は、さまざまな業種、さまざまなIT環境のメンバーが集まる人脈形成の場であり、また、他のユーザ会と異なる大きな特徴として、1年を通した研究会活動による 技術力向上をテーマにした活動を中心としていることがあげられます。
異業種交流の場としてだけでなく、人材育成の場としても活用していただけます。
皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

副会長
**伊藤 春男**
(株) フジテレビジョン

副会長
**櫛橋 保雄**
出光興産(株)

幹　事
**白石 兼康**
(株) 日立ビルシステム

幹　事
**戸松 雅彦**
(株) 中電シーティーアイ
中部地区代表幹事

幹　事
**栗田 政倫**
九電ビジネスソリューションズ(株)
九州地区代表幹事

幹　事
**奥野 雅章**
(株)東洋紡システムクリエート
西日本地区代表幹事

会計幹事
**石毛 幾雄**
山崎製パン(株)

幹　事
**四ヶ浦　明夫**
伊藤忠テクノソリューションズ(株)

幹　事
**駒澤　正樹**
サッポロビール(株)

幹　事
**戊亥 稔**
(株)ビーコンIT

幹　事
**古川 章浩**
(株)ビーエスピー

（敬称略）

## ■平成23年度Beaconユーザ会年間スケジュール（2011年4月 ～ 2012年3月）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 平成24年 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幹事会・研究会運営会議 等 | | | | 運営会議 6/14(火) 幹事会 6/21(火) | | | | | 運営会議 11/16(水) 幹事会 ＊11/25(金) | | | 幹事会 2/9(木) WEB総会 | (準備会) 3/8(木) |
| 東日本 | 情報活用研究会 | | 春の全体会 5/26(木) | | | | | GL会議 10/20(木) | | 冬の全体会 12/2(金) | | 1月下旬から2月上旬までに 平成24年度研究グループ活動の計画決定 | ユーザシンポジウム 3/8(木) -10(土) |
| | システム運用研究会 | | | | | | | GL会議 10/19(水) | | | | | |
| | 東日本ITフォーラム | 4/26(火) | | | | | | 10/25(火) | | | 1/23(月) | | |
| 中部 | 情報活用研究会 | | 春の全体会 5/31(火) | | | | | 合同 GL会議 10/13(木) | | 冬の全体会 12/8(木) | | | |
| | システム運用研究会 | | | | | | | | | | | | |
| | 中部ITフォーラム | 4/21(木) | | | | | | | ＊11/25(金) | | | | |
| 西日本 | 情報活用研究会 | | 春の全体会 5/30(月) | | | | | 合同 GL会議 10/12(水) | | 冬の全体会 12/7(水) | | | |
| | システム運用研究会 | | | | | | | | | | | | |
| | 西日本ITフォーラム | 4/20(水) | | | | | ＊9/9(金) | | | | 1/27(金) | | |
| 九州 | 情報活用研究会 | | 春の全体会 ＊5/20(金) | | | | | 合同 GL会議 ＊10/17(月) | | 冬の全体会 ＊12/12(月) | | | |
| | システム運用研究会 | | | | | | | | | | | | |
| | 九州ITフォーラム | | ＊5/20(金) | | | | | ＊10/17(月) | | ＊12/12(月) | | | |
| マネジメント研究会 | | | | 6/9(木) <東京> | 7/28(木) <福岡> | | ＊9/9(金) <大阪> | | ＊11/25(金) <名古屋> | | | | |
| マネジメント研究会懇親会 | | | | 6/10(金) <東京> | 7/29(金) <福岡> | | 9/10(土) <大阪> | | 11/26(土) <名古屋> | | | | |
| 上海ITフォーラム | | | | | | | | | | | 1/20(金) | | |
| 短期ゼミナール・ 1dayセミナー | | | | | 7-11月 随時開催 | | | | | | | | |

「＊」は「合同開催」　※上記のスケジュールは都合により変更される場合もございますので、予めご了承下さい。


Beaconユーザ会ニュース　No.40　平成23年7月31日



編集発行:Beaconユーザ会事務局
〒160-0023東京都新宿区西新宿1-24-1　エステック情報ビル
株式会社ビーコンIT内
TEL:03-3340-0228　FAX:03-3340-0229
E-Mail:usergrp@beacon-it.co.jp
URL:http://www.beaconuser.jp/